

1967 ~ 1968

向笠ガバナー公式訪問報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1967.10.11

1967 - 68年度目標

ロータリアンとしての

あなたの資格を

効果的に

- ロータリーの活動に自ら進んで参加すること。
- あなたの職業に成功を収めることにより指導力を発揮すること。
- あなたの地域社会や国家に対し忠誠を捧げ、あらゆる機会に奉仕すること。
- 他国の人々の問題によく通じ、これが理解を深めること。

ルーサーH. ホツジスR. I 会長

ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し、特に次の事項を奨励育成するにある。

1. 奉仕の一つの機会として、知り合いを拡めていくこと。
2. 職業上の高き道徳的基準；総ての有用な職業の価値あることの認識；そして社会に奉仕する好機としての各自の業務を各ロータリアンにより權威あらしめること。
3. 各ロータリアンは、その個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常に之れに「奉仕の理想」を適用すること。
4. 「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によつて、国際間の理解と友情と平和とを促進すること。

1. 關於「...」...

2. 關於「...」...

3. 關於「...」...

4. 關於「...」...

5. 關於「...」...

6. 關於「...」...

7. 關於「...」...

8. 關於「...」...

9. 關於「...」...

10. 關於「...」...

11. 關於「...」...

12. 關於「...」...

13. 關於「...」...

14. 關於「...」...

目 次

クラブアツセンブリープログラム	1 頁
役員並びに委員名簿	2
会長報告	3
概況報告	4
会計報告	5
クラブサービス報告	5
出席奨励委員会報告	6
職業分類委員会報告	9
会員選考委員会報告	9
プログラム委員会報告	10
広報委員会報告	11
親睦委員会報告	12
ロータリー情報委員会報告	13
会報、雑誌委員会報告	14
S . A . A 報告	14
職業奉仕委員会報告	15
社会奉仕委員会報告	15
青少年奉仕委員会報告	16
国際奉仕委員会報告	17

附 表

昭和 42 年度予算書

会 員 名 簿

職業分類一覧表(別紙)

クラブアツセンブリープログラム

1967.10.11

於 鶴 鳴 館

19:00~19:01	開 会 の 辞	副 会 長	鮫 島 志 芽 太
19:01~19:04	ロータリーソング(奉仕の理想)斉唱		
19:04~19:10	歓迎の辞及びガバナー、 分区代理紹介	会 長	島 津 忠 丸
19:10~19:15	ガバナー挨拶	ガバナー	向 笠 広 次
19:15~19:25	会 員 自 己 紹 介		
19:25~	会 長 報 告	会 長	島 津 忠 丸
	概 況 報 告	幹 事	安 泉 慶 一 郎
	会 計 報 告	会 計	西 郷 隆 永
	クラブサービス報告	会 務 担 当	藤 守 辰 造
	出席奨励委員会報告	委 員 長	岡 山 栄
	職業分類委員会報告	"	光 吉 正 昭
	会員選考委員会報告	"	塘 一 郎
	プログラム委員会報告	"	町 田 久 敬
	広報委員会報告	"	岩 田 太 一
	親睦委員会報告	"	岩 元 正 二
	ロータリー情報委員会報告	"	栗 川 久 雄
	会報・雑誌委員会報告	"	久 保 田 彦 穂
	S . A . A 報 告	S . A . A	高 田 光 義
	職業奉仕委員会報告	委 員 長	久 保 政 次
	社会奉仕委員会報告	"	佐 伯 延 次 郎
	青少年奉仕委員会報告	"	高 井 敏 治
	国際奉仕委員会報告	"	福 田 敏 之
	講 評	ガバナー	向 笠 広 次
21:00	閉 会 の 辞	幹 事	安 泉 慶 一 郎
	ロータリーソング(手に手つないで) 斉 唱		

1. 凡在本行存款者，均須遵守本行章程。
 2. 存款種類：活期存款、定期存款、零存整付、存本付息。
 3. 利率：本行存款利率，按國家規定辦理。
 4. 手續：存款手續簡便，隨時存取。
 5. 安全：本行設有保險庫，保管貴重物品。
 6. 服務：本行設有儲蓄部，為廣大儲戶服務。
 7. 地址：本行總行設於上海，分行遍佈全國。
 8. 電話：本行電話號碼為XXXXXXX。
 9. 營業時間：本行營業時間為每日上午九時至下午五時。
 10. 其他：本行還提供匯兌、信託等各項金融服務。

11. 11. 11
 12. 12. 12
 13. 13. 13

役員・委員名簿

1967-7~1968-6

会 長(理事)	島 津 忠 丸
副 会 長(")	鮫 島 志 芽 太
幹 事	安 楽 豊 一 郎
副 幹 事	柴 山 一 雄
理 事	藤 安 辰 造
"	久 保 政 次
"	佐 伯 延 次 郎
"	高 井 敏 治
"	福 田 敏 之
会 計	西 郷 隆 永
S . A . A	高 田 光 義
副 S . A . A	伊 東 則 生

会務担当 藤 安 辰 造

出席奨励	◎岡山 栄	○川路 清高・河井 時義
職業分類	◎光吉 正昭	○桜美 四郎・服部 満江
会員選考	◎塘 一 郎	○岡元 健一郎・土橋 英夫
プログラム	◎町田 久敬	○新福 栄熊・飛岡 俊夫
広 報	◎岩田 太一	○牧田 健二・光安 善雄
親 睦	◎岩元 正二	○小山 幸義・米倉 秀雄・神山 光政
ロータリー情報	◎栗川 久雄	○衛藤 右三郎・倉園 清市
会報・雑誌	◎久保田 彦穂	○川村 洋・林 幸光
職業奉仕	◎久保政 次	○田平 礼章・徳田 基・岩元 健吉
社会奉仕	◎佐伯 延次郎	○名越 時秀・黒木 長太郎
青少年奉仕	◎高井 敏治	○幸泉 芳良・堀川 昇
国際奉仕	◎福田 敏之	○浜田 馨・春山 ジャステン

◎- 委員長 ○- 副委員長

会 長 報 告

会 長 島 津 忠 丸

本日は向笠ガバナー、桜美分区代理の御臨席のもとに当クラブのアッセンブリーを開き、クラブの運営の近況を御報告申し上げますと共に、将来の諸計画に就いて会員諸君と共々討議致す機会を得ました事を光榮に存じます。

歴代会長の御努力に依りまして、当クラブも着々と基礎を固め、本年は丁度五周年を迎えるに至りました。本年度のクラブ運営の方針も、この偉大な業績を踏襲しつつ、先づ会員相互の友愛と信頼の上にたつて和を深め、和氣藹々たる中に団結を固め、ロータリー活動の活発化、奉仕の理想の実現を目標としております。

本年度もすでに其の四分の一を経過して、クラブの運営もようやく軌道にのりはじめた段階にあると思います。折よく先般、リーダーシップフォーラムが開催され、この具体的な指導方針の下に、ホツジス会長の四大方針の達成を期するよう努力中であります。

当クラブの業績と致しましては、昨年6月、創立五周年記念行事の一環として新クラブ結成の議が起りまして以来、前会長のもとに鋭意準備を進めておりました処、本年6月24日無事加治木仮ロータリークラブの結成を見るに至りました。この間設立に御協力下さいました吉村バスターガバナー、それに前会長、幹事、土橋特別代表、拡大委員、会員、関係各位の御尽力に心から感謝申し上げます。

本年度は加治木仮クラブが名実共に立派なクラブとして発展されますよう、お互の友情と理解を深め、奉仕の理想に一步でも近づき度い所存であります。

又、当クラブの創立記念日は3月23日ですが、この日には創立五周年を記念しまして、意義ある記念日を迎えるよう、今から充分の準備を進める予定であります。

全般的には以上の通りですが、細部については、各委員会からの報告によりまして、ここでは省略させていただきます。

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

1949年

概 況 報 告

幹 事 安 楽 慶 一 郎

1. 創 立 年 月 日	昭 和 3 8 年 3 月 2 3 日
2. 承 認 年 月 日	昭 和 3 8 年 6 月 2 7 日
3. チャーターメンバー	2 5 名 (内現会員 1 6 名)
4. 本年度頭初会員数	4 6 名
	入会者 1 名 退会者 1 名
5. 現 在 会 員 数	正会員 4 4 名 アデシヨナル正会員 1 名 シニア・アクティブ会員 1 名 計 4 6 名
6. 平 均 年 令	5 3. 3 才 最高 8 0 才 最低 3 4 才 3 0 才台 5 名 4 0 才台 1 1 名 5 0 才台 1 9 名 6 0 才台 9 名 7 0 才台 1 名 8 0 才台 1 名
7. 出 席 率	9 9. 2 0 % (4 1. 9 ~ 4 2. 8)
8. 予 算	本年から編成要領を改め、目的毎に区分した。事務的にはや ゝ繁雑であるが、各委員会は活動に伴う予算を把握し易くな つた。クラブ外に対する奉仕活動予算(拡大事業を含めて 3 3. 6 万) がクラブ全体の予算に占める割合は 1 1. 5 % であ るが、5 周年行事もあり止むを得ないと考えている。 予算の内容は末尾のとおりである。
9. 入 会 金	1 5, 0 0 0 円
10. 年 会 費	4 0, 0 0 0 円
11. ビジター会費	3 5 0 円
12. 会 報	週 報 毎週発行 会 報 年 2 回発行予定
13. ロータリアン誌	4 名購読
14. クラブアツセンブリー	3 回開催
15. クラブフォーラム	1 回開催
16. 炉 辺 会 合	委員会毎に 1 回開催
17. 理 事 会	定時理事会 毎月第 2 週例会後開催 臨事理事会 必要に応じ適時開催

民國二十九年

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

五月二十日

18. 県下 R.C 会長幹事会

大体3カ月毎に輪番で開催、お互いに意見の交換を行ったり、共同事業を協議し、これを実施している。

19. 創立5周年記念行事

本年は、当 R.C 創立5周年に当るので、記念行事を計画したい考であるが、今後具体化して行きたい。

会 計 報 告

会 計 西 郷 隆 永

1. クラブの会費は、年額36,000円のところ、4,000円引上げ、40,000円とし、7月と1月の2期に分割徴収している。
2. 7月初旬に、理事会で年間予算を樹て、予算外の支出については、理事会の承認を得た上で支出するようにしている。
3. 期末には監査を行い、会員に対し、会計の報告をしている。
4. ローター財団に対し、100%寄与している。
米山記念英学会に対しても、同様寄与している。
5. ニコニコ箱の収入は、従来雑収入に計上していたが、本年度より別に計上して明確にした。
6. 本年度予算は末尾の通り。

ク ラ ブ サ ー ビ ス 報 告

会 務 担 当 藤 安 辰 造

基本方針

クラブサービスは、ロータリアンの基本的事項を取扱い行う部門であつて、その基本的事項が立派に実施されてこそ、クラブ活動の向上が出来るのである。即ち、出席、職業分類、会員選考、プログラム、会報、雑誌、親睦、広報、ロータリー情報及び S.A.A の各委員間の縦横の連絡を図り、各委員会の活動を活発にして、クラブ活動が円滑に行われるようにする。

業 績

1. 会務担当関係委員会を2回行つて、会務の促進を図つた。

Faint, illegible text at the top of the page, possibly a header or introductory paragraph.

Section header or title, centered on the page, consisting of several lines of faint text.

Main body of faint, illegible text, appearing to be several paragraphs of a document.

Text block in the lower middle section, possibly a signature or a specific heading.

Faint text at the bottom of the page, possibly a footer or concluding remarks.

2. 炉辺会合記録を作成して、全員に配布した。

計 画

1. 出席率は、今まで第370区年次大会で連続ベストテンに入つて表彰されていたが、本年度もより以上の向上につとめると共に、外部のロータリーの行事にも、積極的に参加するよう努めたい。
2. 例会におけるビジターが、年々増えているが、今後もビジターが来易いように努力すると共に、現在のクラブの明るい家庭的雰囲気を維持して行きたい。
3. 地域が非常に狭く、人材を得る事が困難であるが、出来るだけ入会者を増すように努めたい。
4. 一層、各委員会の活動を円滑にしたい。そのため、毎月一回各委員会毎の会合をし、その委員会の問題を、委員長会で取り上げ、必要な件を理事会に提案し、可決された事を実行して行きたい。
5. 各委員会で、年度初めに決めた活動方針の実行を促進したい。

出席奨励委員会報告

委員長 岡 山 栄
委員 川 路 清 高
" 河 井 時 義

基本方針

「出席」なくして奉仕も友愛もあり得ない。

先づ例会に出席することが、我々の活動の前提条件であり、「欠席」は会員として恥づべきことであるとの認識を、特に新会員の方に強調する。更に「各種の会合への参加」と「ホームクラブへの出席率」を向上させるように努力したい。

業 績

出席率が昨年度は幾分低下の傾向を示したので、過去3回の年次大会において、連続して出席率ベストテンの表彰を受けた当クラブの名誉ある伝統を回復したいのが念願であるが、

1. 幸いに、新年度になつて現在まで、毎回100%の出席率を示している。
2. 例会出席掲示板を、大きなものに取替えた。又、ホームクラブへの出席を「朱色」マークアップを「緑色」の線で色分けして、会員の関心を強め、見易いものに改めた。
3. 連続出席者に対する表彰、記念品の贈呈をつづけている。

計 画

1. 会員毎の出席率，並びにホームクラブへの出席割合を3カ月毎に集計した一覧表を作成，配布して意欲の向上を図る。
2. 過去における年次大会等に参加した各会員別の実績表を作成して，今後の各種会合への，積極的出席方について，会員の自覚と促進を期したい。

例 会 出 席 状 況

回数	例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	マーク アップ	出席 訂正率	ゲスト	ビジター
218	42. 7. 6	46	37	9	80.43	9	100	0	17
219	13	47	40	7	85.11	7	100	1	26
220	20	47	36	11	76.60	11	100	0	15
221	27	47	38	9	80.85	9	100	0	18
222	8. 3	47	35	12	74.47	12	100	6	22
223	10	47	29	18	61.70	18	100	1	17
224	17	47	38	9	81.63	9	100	1	28
225	24	47	32	15	68.09	15	100	1	29
226	31	47	36	11	76.60	11	100	3	20
227	9. 7	47	31	16	65.96	16	100	0	16
228	14	47	34	13	72.34	13	100	1	14
229	21	47	39	8	82.98	8	100	0	14
12回	計	563	425	138	906.76	138	1200	14	236
	平均	47	35	11	75.56	11	100	1	20

100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
400	400	400	400	400	400	400	400	400	400
500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
600	600	600	600	600	600	600	600	600	600
700	700	700	700	700	700	700	700	700	700
800	800	800	800	800	800	800	800	800	800
900	900	900	900	900	900	900	900	900	900
1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000

Table Title

Additional text or notes at the bottom of the page, possibly a legend or description of the data.

月 別 出 席 率 表

年 月	%	90	95	100	出席率	地区 順位
41.	9	[Progress bar from 90 to 99.47]			99.47	12
	10	[Progress bar from 90 to 98.40]			98.40	16
	11	[Progress bar from 90 to 100.00]			100.00	1
	12	[Progress bar from 90 to 99.15]			99.15	14
42.	1	[Progress bar from 90 to 97.91]			97.91	22
	2	[Progress bar from 90 to 98.43]			98.43	20
	3	[Progress bar from 90 to 100.00]			100.00	1
	4	[Progress bar from 90 to 98.42]			98.42	13
	5	[Progress bar from 90 to 99.46]			99.46	11
	6	[Progress bar from 90 to 99.15]			99.15	15
	7	[Progress bar from 90 to 100.00]			100.00	1
	8	[Progress bar from 90 to 100.00]			100.00	1

平均 99.20%

Table 1

Year	1950	1951	1952	1953	1954	1955	1956	1957	1958	1959	1960	Total	
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													
31													
32													
33													
34													
35													
36													
37													
38													
39													
40													
41													
42													
43													
44													
45													
46													
47													
48													
49													
50													
51													
52													
53													
54													
55													
56													
57													
58													
59													
60													
61													
62													
63													
64													
65													
66													
67													
68													
69													
70													
71													
72													
73													
74													
75													
76													
77													
78													
79													
80													
81													
82													
83													
84													
85													
86													
87													
88													
89													
90													
91													
92													
93													
94													
95													
96													
97													
98													
99													
100													

Table 1

職業分類委員会報告

委員長 光 吉 正 昭
委員 桜 美 四 郎
" 服 部 満 江

基本方針

職業分類別一覧表を作成検討し、未充填部門があれば、会員選考委員会に積極的に働きかけ、新会員の充填を計りたいと思う。

尚、この一覧表は全会員に配布し、ロータリーの1業1人の原則の重要性、職業分類に対する認識を深めるようにしたい。

業 績

職業分類別一覧表の作成(旧)

計 画

1. 新職業分類一覧表を作成、配布する。
2. 委員会を開催し、会員の増強を積極的に働きかける。

会員選考委員会報告

委員長 塘 一 郎
委員 岡 元 健一郎
" 土 橋 英 夫

基本方針

会員に推薦された人を、個人的な面から観察、調査し、その人の資格および職業的、社会的地位を評価し、その結果を理事会に報告する。

更に積極的にクラブの充填、未充填職業分類表を検討し、開放された職業分類を充填するよう適当な人を理事会に推薦する。

なお、会員の選考に当っては、特に情実を排し、厳正を旨とし、その人の人格に重点を置き、品性と出席可能性を重視する。

業 績

上記基本方針に則り、他の委員会、就中、職業分類委員会との連絡を密にして、新会員の獲得

THE UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

UNIVERSITY OF CHINA PRESS

に努力して来た。その結果、今年度1名だけは、優秀な新会員を入会させることができた。

計 画

理事会および職業分類委員会と連絡を密にし、クラブの地域限界内で、すぐれた新会員候補を発掘して行きたい。

なお、現在、新会員候補として、7名など見当をつけているが、今年度中には少なくとも、5名ぐらゐの新会員を迎えるよう努力したい。

プログラム委員会報告

委員長 町 田 久 敬
 委 長 新 福 栄 熊
 飛 岡 俊 夫

基本方針

奉仕の精神に沿い、クラブの方針を織込んで、全員が喜んで聞くようなプログラム編成に努力する。内容は、バランスとバラエティを保ち、品格、有益、親和感、ユーモアのあるものとする。

このため、クラブの役員、各委員長、会員と密接な連絡を保ち、卓話者の開発を図る。

業 績

鹿兒島でも、来年は明治100年の記念行事が計画されているので、現在将来の展望をきかせながら、地域社会とも密接な連絡をとりつつ、卓話者の人選をしている。

計 画

1. 例会の卓話は、ゲスト50%、会員25%、映画25%とするも、会員の比率を高めるよう努力する。
2. 予定の例会より2カ月前より準備し、1カ月前に計画を確立する。
3. 卓話者の紹介は、プログラム委員が交替して行いを原則とする。

卓 話 の 実 績

月 日	ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
	題 目	職 業	氏 名	題 目	氏 名
42. 7. 6 13	火山と防災	桜島火山観測出張所長	吉川圭三	新会長幹事挨拶 新委員会活動方針発表	

姓名	性别	年龄	籍贯	职业	住址

某某某

本人于... 年毕业于... 大学... 专业... 期间... 成绩优异... 毕业后... 从事... 工作... 期间... 表现... 良好... 现... 申请... 职位... 恳请... 贵单位... 予以... 考虑... 此致... 敬礼

申请人：某某某
 联系电话：13800000000
 电子邮箱：example@example.com

某某某

本人于... 年毕业于... 大学... 专业... 期间... 成绩优异... 毕业后... 从事... 工作... 期间... 表现... 良好... 现... 申请... 职位... 恳请... 贵单位... 予以... 考虑... 此致... 敬礼

月 日	ゲ ス ト 卓 話			会 員 卓 話	
	題 目	職 業	氏 名	題 目	氏 名
42. 7. 20 27				改正税法 について	岡 山 栄
				クラブフォーラム (青少年奉仕部門)	
8. 3	日 本 の 印 象	鹿大夏期講習に 日本文化研修中	ロバート. ウェイガント ミセス.リード ミス.コートン		
10	内村鑑三先生の 手紙	弁 護 士	松 村 仲之助		
17	石 の 話	水 石 会 員	片 岡 八 郎		
24	薩摩魂について	鹿工専教頭	若 松 大 助		
31	シルク・ロードの 遺跡について	鹿短大助教授	長 沢 和 俊		
9. 7	(映画) アメリカの若い農家	鹿児島銀行提供			
14				リーダーシップフォ ラム出席報告	
21				観月家族会	
28				クラブアツセン ブリー	

広 報 委 員 会 報 告

委員長 岩 田 太 一
 委 員 牧 田 健 二
 " 光 安 善 雄

基本方針

ロータリー精神と、クラブ活動の実体に対する一般世間の認識と理解を深めるため、下記の事項の実行に努める。

1. 本委員会には、特に報道関係会員及びロータリー情報、会報委員会の協力をお願いして、外に対しては、新聞、ラジオ等のマスコミ関係に働きかけ、内には、会員各自週報、ガバナースマンズリーター、ロータリーの友を精読して、ロータリー活動状態を周知徹底してもらうように努める。



1. 凡在本行存款...
 2. 凡在本行存款...
 3. 凡在本行存款...
 4. 凡在本行存款...
 5. 凡在本行存款...
 6. 凡在本行存款...
 7. 凡在本行存款...
 8. 凡在本行存款...
 9. 凡在本行存款...
 10. 凡在本行存款...

存款种类	存款余额	存款日期	存款利率	存款利息	存款本金	存款总额
活期存款	1000.00	2023.01.01	0.3%	3.00	1000.00	1003.00
定期存款	5000.00	2023.01.01	1.5%	75.00	5000.00	5075.00
零存整取	2000.00	2023.01.01	1.0%	20.00	2000.00	2020.00
整存整取	3000.00	2023.01.01	1.5%	45.00	3000.00	3045.00
存本付息	1000.00	2023.01.01	1.5%	15.00	1000.00	1015.00
通知存款	1500.00	2023.01.01	0.8%	12.00	1500.00	1512.00
协定存款	2500.00	2023.01.01	0.5%	12.50	2500.00	2512.50
保证金存款	1200.00	2023.01.01	1.0%	12.00	1200.00	1212.00
其他存款	800.00	2023.01.01	0.5%	4.00	800.00	804.00
合计	15500.00			203.50	15500.00	15703.50

2. クラブ内各委員会と連絡を密にし、クラブの各種活動、行事等に関する広報資料の獲得に努めること。
3. クラブ内会合に、なるべく多くのゲストを招く事。
4. クラブ員各自のロータリー精神にもとづく生活と活動そのものが、最も大きな広報力である事に対する自覚を深めてもらうこと。

業 績

1. クラブの活動、行事に関し、マスコミ機関に報道資料を提供した。
度々新聞に報道された。
2. クラブ内各委員会と積極的に連絡した。

計 画

上記の基本方針を推進すると共に、本年は当クラブ創立五周年に当るので、その記念行事や、ロータリー賞受賞者選定等について、特にロータリー精神を強く打出すようなものとし、これらを地域社会の人々に充分理解してもらい為に、マスコミ関係の方々との座談会等も計画している。

親 睦 委 員 会 報 告

委員長	岩	元	正	二
委員	小	山	幸	義
"	米	倉	秀	雄
"	神	山	光	政

基本方針

会員間の理解と友愛を深め、家族を中心とする親睦を目的とするよう努力する。

業 績

1. 毎月第一例会日に、その月の該当者に誕生祝、結婚祝を贈り、誕生者に対しては、全員でベースソングを唄っている。
2. 9月21日午後6時より磯公園において、恒例の親月野外パーティーを開催した。
(参加者 97名)

計 画

1. クリスマスパティー、春のピクニックの家族会を計画している。
2. 会員を中心とするゴルフ会を開催、スポーツを通じて親睦をはかる。
3. クラブ対抗の諸種の行事には積極的に参加して、他のクラブとの親睦をはかりたい。

ロータリー情報委員会報告

委員長 栗川久雄
委員 衛藤右三郎
倉園清市

基本方針

1. 新入会員がロータリーを理解し、ロータリアンとしての責務を自覚するように助言する。
2. ロータリーの歴史、綱領および活動状況に関する資料を会員に提供して、奉仕活動への意欲をかきたてる。

業績

1. 新入会員には、入会前に面接して、標準定款の要点を説明するとともに、ロータリーを理解するための、有用な情報源となる各種文献の存在を説示している。
2. ロータリーを理解する情報源となる文献で、クラブに不足しているものを補充した。
3. 例会の卓話前に、簡単なロータリー情報を流している。
4. 歴代R.I会長の指針(ターゲット)を印刷して会員に配布し、反復学習に努めた。

計画

1. 会長、幹事、その他の役員とつとめて密接な接触を保つとともに、ロータリー情報で必要なものがあれば、適切な文献を紹介することにつとめたい。
2. ロータリアン誌、その他の文献を渉読して、情報に関する記事を会員に紹介するようにしたい。その場合、情報が退屈なものにならないように工夫したい。
3. リーダーシップ、フォーラムで金モデレーターの示唆もあつたので、歴代R.I会長の指針のうち、1961~62年度以降のものについては、再度研究討議の材料としたい。

付記 — 1911年ロータリーの創始者ポールハリスは「ロータリーは巨大にして強力な機構である。もし、誤つた方向に進むならば、時の流れをせきとめ、全人類をおびやかすものとなるであろう。しかしまた、正しい方向に導かれるならば、それは人間味ゆたかな機構となるでありましょう。」と述べた。

なるほど、今では、125カ国、11,700の地域社会に於て、55万名の会員が毎週規則正しく会合し、「奉仕の理想」という確固たる共通の目的のために実働している。

しかしながら、宇宙時代に入つた現在の世界情勢からして、地域社会やR、Cが直面している解決の問題は山ほどある。

これに対応して、R、Iの施政の指針も1961年以来、大きく変りつつあるように見受けられるので、これをしつかりと把握したい。

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
DEPARTMENT OF CHEMISTRY
LABORATORY OF ORGANIC CHEMISTRY
505 EAST SOUTH EAST AVENUE
CHICAGO, ILLINOIS 60607
TEL: 773-936-3700

1. The first step in the synthesis of the target molecule is the reaction of the starting material with the reagent to form the intermediate. This reaction is carried out in a dry, inert solvent at a temperature of 0°C to room temperature. The reaction mixture is then filtered and concentrated under reduced pressure to give the crude product. The crude product is purified by column chromatography using a silica gel column and a gradient of ethyl acetate in hexanes as the eluent. The pure product is then dried under high vacuum and weighed for analysis.

Yield: 85%
mp: 120-122°C
lit. mp: 120-122°C

ANAL. Calcd for C₁₀H₁₀O: C, 88.10%; H, 7.34%. Found: C, 88.1%; H, 7.3%.

IR (KBr): 1715, 1640, 1600, 1500, 1450, 1380, 1300, 1250, 1100, 1050, 1000, 950, 900, 850, 800, 750, 700, 650, 600, 550, 500, 450, 400, 350, 300, 250, 200, 150, 100, 50, 0.

会報・雑誌委員会報告

委員長 久保田 彦 穂
委員 川 村 洋
林 幸 光

基本方針

1. クラブ各員の出席向上
2. クラブ各員の親睦
3. クラブ活動の活発化を促す

以上の三点に重点を置く週報を発行する。

業 績

毎週の週報発行を通じて

1. クラブ各員の出席の向上
2. クラブの委員会の活動状況を各員に理解して貰う

以上の点にいささか役立ったことと思ひ。

計 画

1. 基本方針をもつと徹底させて、クラブをより活気あるものにする事。
2. 創立5周年記念特集の会報を発行

S・A・A 報告

S・A・A 高 田 光 義
副S・A・A 伊 東 則 生

基本方針

当クラブの例会は、何時でも極めて和やかな雰囲気で行われて来て居り、加うるに来訪ロートルの数も非常に多い。従つて、今後ともに会員相互の連繋を密にすることによつて、このよい気風をより一層助長して行きたい。

業 績

1. 現在までのところ、例会を早退する会員は殆どない。
2. 親睦委員会と連絡を密にして、会員によるごびあれば例会の席上で発表して、会員全体の喜びとして頒ち、会員相互の親近親睦の一助にし、ニコニコボックスの資金源を潤すことについて、先般開催された一連のファイヤサイドミーティングで諒承をいただいた。

計 画

... ..
... ..
... ..

... ..
... ..
... ..

... ..
... ..
... ..

... ..

... ..
... ..

... ..
... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..
... ..
... ..

... ..

例会の和やかな雰囲気は、会場に足を踏み入れる門口での greeting に始まる。S.A.Aは開会前、会員に先立つてここに待機して、会場の整理の監督に当る外に、この点に注意して会員の親睦のための例会場とすることに役立ちたい。

職業奉仕委員会報告

委員長	久保政次
委員	田平礼章
"	徳田基
"	岩元健吉

基本方針

ロータリーの最も特徴的な職業を通じての奉仕活動を徹底させる為、会員各自の職業意識を高め、其の社会性を深く認識させる事を基本的態度として活動を行う。

業績

1. 職業奉仕活動の在り方について、ファイヤ サイドミーティングで討議を行った。
2. 特に新入会員に対し、職業奉仕についての話し合いを行った。

計画

1. クラブの企画に合せ、近くフォーラムに於てケーススタディ(事例研究)を実施する事となつて居る。
2. 優良職業人の表彰を行う為、目下候補を検討中である。
3. 研修としての事業場の視察を行いたい。
4. 加治木仮クラブに対する支援を積極的に進めたい。

社会奉仕委員会報告

委員長	佐伯延次郎
委員	名越時秀
"	黒木長太郎

基本方針

所属地域社会をよく知り、何が最も必要に迫られているかを発見し、当クラブがこれに関係する可能性を検討して、やれば出来ることから実行していくことによつて、地域社会の改善向

1. 關於...

2. 關於...

3. 關於...

關於...

1. 關於...

2. 關於...

3. 關於...

1. 關於...

2. 關於...

3. 關於...

關於...

1. 關於...

2. 關於...

3. 關於...

上のために奉仕したい。尚この際、それぞれの分野に係る諸団体との協力についても、じゆゆうぶん考慮すること。

業 績

1. 佐賀、長崎の水害に対し義援金を贈つた。

計 画

1. 身体不自由者のための施設（例えば整肢園、更生相談所、指導所等）に勤務する職員に対する激励と感謝。
2. 献本運動への協力。
3. 安全都市運動への協力。（防災、交通安全等）
4. 地域都市美化運動への協力。

青少年奉仕委員会報告

委員長 高 井 敏 治
委 員 幸 泉 芳 良
" 堀 川 晃

基本方針

次の世代の根幹となる青少年に、ロータリーとして物心両面から出来る限りの援助をする。青少年に公共に奉仕する精神を培養したい。インターアクトクラブの発展をはかる。

業 績

1. 第370区第3回インターアクト連絡協議会のホストクラブとして、同協議会を8月18日、19日に開催した。
2. 訪韓インターアクトの一員に、鶴丸高校の村岡君を派遣した。
3. ワンダーフォーゲル運動に協力した。
4. 8月にインターアクトOBと現I.C員との懇談会を開いた。
5. 8月18日午前5時鶴丸I.Cの早起き会を行つた。

計 画

1. 夏休みに姉妹クラブの鶴岡I.Cの生徒を8月に招待するようとりきめたが、冬休みに延期実施する。
2. 明治100年を記念して、鹿児島市内3クラブ共同でスポーツ奨励その他のことを計画中である。

1. 凡在本行存款之存款人，其存款之利息，均按本行所定之利率计算。

2. 存款人如欲支取存款时，须向本行出示存款单，并支付相应之利息。

3. 本行对于存款人之存款，均负有保密之义务，除法律另有规定外，不得向任何人泄露。

4. 存款人如欲变更存款之利率或期限时，须向本行提出申请，并经本行核准后方可办理。

5. 本行对于存款人之存款，均享有优先受偿之权利。

以上各款，均经本行全体董事会议决通过，并呈请主管机关核准在案。

本行董事长 王 德 明
 本行副董事长 李 德 全
 本行总经理 张 德 全

本行存款利率表

1. 活期存款：年息 0.5%

2. 定期存款：

- (1) 一年期：年息 1.5%
- (2) 二年期：年息 2.0%
- (3) 三年期：年息 2.5%
- (4) 四年期：年息 3.0%
- (5) 五年期：年息 3.5%

3. 零存整付：年息 1.0%

4. 整存整付：年息 1.5%

5. 通知存款：年息 2.0%

6. 存本付息：年息 1.0%

7. 存本取息：年息 1.0%

8. 存单质押：年息 3.0%

9. 存折质押：年息 3.0%

10. 存单抵押：年息 3.0%

11. 存折抵押：年息 3.0%

12. 存单抵押：年息 3.0%

13. 存折抵押：年息 3.0%

14. 存单抵押：年息 3.0%

15. 存折抵押：年息 3.0%

国際奉仕委員会報告

委員長 福田 敏之
委員 浜田 馨
春山 ジャステン

基本方針

R・I会長の方針に従い、国際理解を深めるために定められたマツチクラブとの交流のみならず、広く世界社会への奉仕運動を推進して、ロータリーの世界連帯感を強め、これによつて国際親善の実を挙げたい。

業績

1. 鹿児島三クラブ合同により、日米高校生2名を交換したが、受け入れのために交換学生受入委員会を設けて、毎月1回例会にゲストとして受入れている。
2. 韓国元ガバナー金永韶氏の御来訪の機会に歓迎懇談会を行なつた。
3. 鹿児島大学夏期講習会に出席のアメリカの教師を例会に招いて、卓話「日本の印象」を聞いた。
4. 中国留学生2名を観月家族会に招待し、親善を深めた。

計画

1. 交換学生として滞在中のアメリカの学生2名を温かく扱つて受け入れに万全を期する。今後とも例会に招待して親善を図りたい。
2. 世界社会運動を積極的に推進するための具体的な方法を研究して、実施に移すように計画する。
3. 世界理解週間中、留学生を例会に招待、またクリスマスパーティーにはインターアクトと共に招待して、懇談の機会を設けることにしたい。
4. 鹿児島の風物、ロータリー活動の状況をカラーズライドにおさめ、マツチクラブに送つて親善理解を深めたい。
5. 児童図をマツチクラブと交換したい。
6. ロータリー財団週間には応分の寄付をしたい。

The first part of the report deals with the general situation of the country and the progress of the work done during the year. It is followed by a detailed account of the various projects and schemes undertaken, and the results achieved. The report concludes with a summary of the work done and the progress made during the year.

The second part of the report deals with the financial statement of the organization for the year. It shows the income and expenditure for the year, and the balance sheet at the end of the year. It also shows the details of the various items of income and expenditure, and the reasons for the same.

The third part of the report deals with the accounts of the various departments and sections of the organization. It shows the work done by each department and section, and the results achieved. It also shows the financial statement of each department and section, and the reasons for the same.

The fourth part of the report deals with the accounts of the various committees and sub-committees of the organization. It shows the work done by each committee and sub-committee, and the results achieved. It also shows the financial statement of each committee and sub-committee, and the reasons for the same.

The fifth part of the report deals with the accounts of the various societies and clubs of the organization. It shows the work done by each society and club, and the results achieved. It also shows the financial statement of each society and club, and the reasons for the same.

The above report is submitted for the consideration of the members of the organization. It is hoped that it will be found useful and interesting.

Yours faithfully,
 Secretary

附 表

昭和 42 年度 予 算 書

会 員 名 簿

職 業 分 類 一 覧 表 (別 紙)

昭和42年度収支予算書

1967-7~1968-6

(収入の部)

費目	予算額	摘要
前年度繰越金	299,245	
年会費	2,000,000	20,000×50名×2期
雑誌代	66,000	660円×50名×2期
入会金	60,000	15,000円×4名
ロータリー財団寄付金 (入会時)	14,400	3,600円×4名
ビジター会食費	323,400	350円×77名×12ヵ月
ニコニコ箱	100,000	
雑収入	38,000	預金利息, パッチ代, 加治木クラブ結成経費負担金外
合計	2,901,045	

(支出の部)

	費目	予算額	摘要
事務局関係	人件費	410,000	事務員給料, 夏期年末手当外
	通信費	45,000	切手, ハガキ, 送金手数料, 電話料
	事務用品費	15,000	事務用品一切
	印刷費	20,000	公式訪問報告書等印刷代
	厚生福利費	19,000	健康保険料 外
	旅費	10,000	諸車代
	図書費	7,000	新聞代 外
	借室料	72,000	6,000円×12ヵ月
	小計	598,000	
委員会関係	出席	24,000	表彰記念品代
	会員選考	1,000	
	職業分類	5,000	職業分類表印刷代

	費 目	予 算 額	摘 要
委 員 会 関 係	親 睦	90,000	誕生祝, 結婚祝, ビジター100番毎記念品, 家族会補助, レクリエーション負担金外
	プ ロ グ ラ ム	25,000	卓話謝礼
	ロ ー タ リ ー 情 報	18,000	ガバナー月信120円×46名×2 ローター手帳100円×50 文献代等
	広 報	15,000	報道関係招待
	会 報 ・ 雑 誌	81,000	会報・週報用紙代, ローターの友 660円×50名×2
	職 業 奉 仕	15,000	優良職業人の表彰
	社 会 奉 仕	60,000	合同奉仕負担金 ローター賞 外
	青 少 年 奉 仕	120,000	ワンダーフォーゲル負担金, インターアクト援助 外
	国 際 奉 仕	75,000	交換学生分担金60,000円 万国博会場負担金50円×46名×2期 外
拡 大 事 業 費	66,000	加治木クラブへの記念品代 旅費, 日当等	
	小 計	595,000	
国 際 ロ ー タ リ ー 関 係	人 頭 分 担 金	99,360	1,080円×46名×2期
	ロ ー タ リ ー 財 団 寄 付 金	16,920	3,600円×47名
	ロ ー タ リ ー 財 団 寄 付 金 (入 会 時)	14,400	3,600円×4名
	米山記念奨学 寄 付 金	27,600	3,000円×46名×2期
	小 計	158,280	
地 区 関 係	地 区 大 会	57,000	負担金1,000円×47名 参加拠金1,000円×10名
	地 区 協 議 会	50,000	登録料, 旅費, 宿泊費
	リ ー ダ ー シ ッ プ フ ォ ー ラ ム	47,500	登録料, 旅費, 宿泊費
	地 区 資 金	46,000	5,000円×46名×2期
	地 区 国 際 青 少 年 資 金	18,400	2,000円×46名×2期
	小 計	218,900	
特 別 行 事	5 周 年 記 念		予備費より
そ の 他	会 議 費	57,500	会長幹事会登録料, 理事会, アツセンブリー補助 外
	会 食 費	962,000	例会会食費

1	100	100
2	100	100
3	100	100
4	100	100
5	100	100
6	100	100
7	100	100
8	100	100
9	100	100
10	100	100
11	100	100
12	100	100
13	100	100

費 目		予 算 額	摘 要
そ の 他	雑 備 品 費 費 小 計	30,000 40,000 1,089,500	前会長, 幹事記念品代 外
予	備 費	241,365	
合	計	2,901,045	

基金特別負担金予算書

費 目	予 算 額	摘 要
前 年 度 繰 越 金	114,883	
基 金 特 別 負 担 金	20,000	新会員4名の予定
雑 収 入	5,000	預金利息
合 計	139,883	

会 員 名 簿

	氏 名	職 業 分 類	勤 務 先			自 宅
1 A	安 楽 慶一郎	焼 酎 製 造	安 楽 酒 造 (株)	代表取締役	平之町 130	高麗町 615
2 E	衛 藤 右三郎	建 築 設 計	衛藤建築設計事務所	所 長	西千石町 3の16	宇宿町2536
3 F	福 田 敏之	民 間 放 送	(株)南日本放送	取 締 役 編成局長	高麗町 17	草牟田町 2195
4	藤 安 辰 造	味 噌 製 造	藤 安 醸 造 (株)	取締役社長	住吉町 6の15	住吉町 6の20
5 H	林 幸 光	洋 楽	鹿児島短期大学	教 授	永吉町 450	西田町 58の6
6	堀 川 昇	生 命 保 険	日本生命保険 鹿支社	支 社 長	武町 431 南国日本生 命ビル内	上荒田町 2070
7	浜 田 馨	酒 類 販 売	(有)浜田酒店	取締役社長	高麗町 192	同 左
8	春 山 ジャستن	キリスト教(新教)	日本基督教団 鹿地区	宣 教 師	上荒田町 137	同 左
9	服 部 満 江	農 学 研 究	鹿 児 島 大 学 農学部	教 授	上荒田町 1946	鳴池町 1102の9
10 I	岩 元 健 吉	製 綿	カクイわた (株)	取締役社長	郡元町 927	郡元町 1172
11	岩 元 正 二	織 維 品 販 売	山形屋商事 (株)	常務取締役	堀江町 8	高麗町 143
12	岩 田 太 一	和 菓 子 製 造	(有)明石屋菓子店	取締役社長	金生町 3	西千石町 129
13	伊 東 則 生	タ ク シ ー 業	(有)丸信タクシー	取締役社長	清水町 64	天保山町50
14 K	河 井 時 義	外 科 医	河井外科医院	院 長	高麗町 183	同 左
15	川 村 洋	百 貨 店	(株)山形屋	常務取締役	金生町3の1	下荒田町 2247
16	川 路 清 高	医 学 教 育	鹿 児 島 大 学 医学部	教 授	城山町 7の82	新照院町 154
17	黒 木 長太郎	経 済 学 教 育	鹿児島経済大学	学 長	下福元町 8850	薬師町 444
18	久 保 政 次	ゴ ム 製 品 販 売	(株)久保利商店	取締役社長	名山町 1の4	下竜尾町 77

	氏 名	職 業 分 類	勤 務 先	自 宅
19	久保田 彦 穂	文 芸		長田町 146
20	倉 園 清 市	信 用 金 庫	鹿 児 島 相 互 信 用 金 庫 常 務 理 事	泉 町 18 下 荒 田 町 72
21	栗 川 久 雄	高 等 学 校	県 立 鶴 丸 高 等 学 校 校 長	薬 師 町 34 下 荒 田 町 440
22	小 山 幸 義	ホ テ ル	鹿 児 島 ホ テ ル 鶴 鳴 館 取 締 役 社 長	城 山 町 5の30 同 左
23	幸 泉 芳 良	鉄 鋼 販 売	幸 泉 交 易 ㈱ 専 務 取 締 役	泉 町 3の7 伊 敷 町 63
24	神 山 光 政	鉄 道 車 輛 修 理	国 鉄 鹿 児 島 工 場 工 場 長	上 荒 田 町 800 郡 元 町 24 唐 湊 国 鉄 宿 舎
25	M 牧 田 健 二	内 科 医	牧 田 医 院 院 長	下 竜 尾 町 6 同 左
26	町 田 久 敬	外 国 為 替 銀 行	三 井 銀 行 鹿 支 店 支 店 長	金 生 町 5の1 薬 師 町 32
27	光 安 善 雄	原 木 販 売	光 安 木 材 ㈱ 専 務 取 締 役	栄 町 11 下 竜 尾 町 85
28	光 吉 正 昭	請 負 業	小 牧 建 設 ㈱ 常 務 取 締 役	西 千 石 町 2の35 鴨 池 町 471
29	N 名 越 時 秀	商 業 銀 行 (ア デ ィ シ ョ ナ ル)	鹿 児 島 銀 行 武 町 支 店 支 店 長	武 町 429 水 吉 町 295
30	O 岡 元 健 一 郎	病 院	鹿 児 島 大 学 付 属 病 院 泌 尿 科 部 長	城 山 町 8の3 城 山 町 7の13
31	岡 山 栄	会 計 士	岡 山 公 認 会 計 士 事 務 所 所 長	薬 師 町 53 同 左
32	S 西 郷 隆 永	相 互 銀 行	旭 相 互 銀 行 常 務 取 締 役	六 日 町 8 鴨 池 町 507
33	桜 美 四 郎	シニア・アクティブ (瓦斯供給)	日 本 瓦 斯 ㈱ 相 談 役	武 町 501 上 之 園 町 37
34	鮫 島 志 芽 太	新 聞 発 行	南 日 本 新 聞 社 常 務 取 締 役	易 居 町 1の5 上 荒 田 町 62
35	佐 伯 延 次 郎	短 期 大 学	鹿 児 島 県 立 短 期 大 学 学 長	下 伊 敷 町 104 清 水 町 133
36	柴 山 一 雄	歯 科 医	柴 山 歯 科 医 院 院 長	山 下 町 9の31 同 左
37	島 津 忠 丸	土 木 建 築	新 九 州 建 設 ㈱ 常 務 取 締 役	吉 野 町 磯 9688 清 水 町 21
38	新 福 栄 熊	自 然 科 学	鹿 児 島 経 済 大 学 教 授	下 福 元 町 8850 玉 里 町 3465

姓名	性别	年龄	籍贯	职业
李德全	男	45	湖南长沙	教师
王德全	男	35	湖北武汉	医生
张德全	男	55	四川成都	工人
刘德全	男	65	广东广州	农民
陈德全	男	75	浙江杭州	商人
周德全	男	85	江苏南京	学者
吴德全	男	95	福建福州	官员
郑德全	男	105	山东济南	地主
冯德全	男	115	山西太原	军官
马德全	男	125	河南郑州	商人
朱德全	男	135	安徽合肥	工人
李德全	男	145	江西九江	农民
王德全	男	155	广西梧州	商人
张德全	男	165	云南昆明	工人
刘德全	男	175	贵州贵阳	农民
陈德全	男	185	陕西西安	商人
周德全	男	195	甘肃兰州	工人
吴德全	男	205	宁夏银川	农民
郑德全	男	215	青海西宁	商人
冯德全	男	225	新疆乌鲁木齐	工人
马德全	男	235	内蒙古呼和浩特	农民
朱德全	男	245	辽宁沈阳	商人
李德全	男	255	吉林长春	工人
王德全	男	265	黑龙江哈尔滨	农民
张德全	男	275	河北石家庄	商人
刘德全	男	285	山西太原	工人
陈德全	男	295	山东济南	农民
周德全	男	305	河南郑州	商人
吴德全	男	315	安徽合肥	工人
郑德全	男	325	江西九江	农民
冯德全	男	335	广西梧州	商人
马德全	男	345	云南昆明	工人
朱德全	男	355	贵州贵阳	农民
李德全	男	365	陕西西安	商人
王德全	男	375	甘肃兰州	工人
张德全	男	385	宁夏银川	农民
刘德全	男	395	青海西宁	商人
陈德全	男	405	新疆乌鲁木齐	工人
周德全	男	415	内蒙古呼和浩特	农民
吴德全	男	425	辽宁沈阳	商人
郑德全	男	435	吉林长春	工人
冯德全	男	445	黑龙江哈尔滨	农民
马德全	男	455	河北石家庄	商人
朱德全	男	465	山西太原	工人
李德全	男	475	山东济南	农民
王德全	男	485	河南郑州	商人
张德全	男	495	安徽合肥	工人
刘德全	男	505	江西九江	农民
陈德全	男	515	广西梧州	商人
周德全	男	525	云南昆明	工人
吴德全	男	535	贵州贵阳	农民
郑德全	男	545	陕西西安	商人
冯德全	男	555	甘肃兰州	工人
马德全	男	565	宁夏银川	农民
朱德全	男	575	青海西宁	商人
李德全	男	585	新疆乌鲁木齐	工人
王德全	男	595	内蒙古呼和浩特	农民
张德全	男	605	辽宁沈阳	商人
刘德全	男	615	吉林长春	工人
陈德全	男	625	黑龙江哈尔滨	农民
周德全	男	635	河北石家庄	商人
吴德全	男	645	山西太原	工人
郑德全	男	655	山东济南	农民
冯德全	男	665	河南郑州	商人
马德全	男	675	安徽合肥	工人
朱德全	男	685	江西九江	农民
李德全	男	695	广西梧州	商人
王德全	男	705	云南昆明	工人
张德全	男	715	贵州贵阳	农民
刘德全	男	725	陕西西安	商人
陈德全	男	735	甘肃兰州	工人
周德全	男	745	宁夏银川	农民
吴德全	男	755	青海西宁	商人
郑德全	男	765	新疆乌鲁木齐	工人
冯德全	男	775	内蒙古呼和浩特	农民
马德全	男	785	辽宁沈阳	商人
朱德全	男	795	吉林长春	工人
李德全	男	805	黑龙江哈尔滨	农民
王德全	男	815	河北石家庄	商人
张德全	男	825	山西太原	工人
刘德全	男	835	山东济南	农民
陈德全	男	845	河南郑州	商人
周德全	男	855	安徽合肥	工人
吴德全	男	865	江西九江	农民
郑德全	男	875	广西梧州	商人
冯德全	男	885	云南昆明	工人
马德全	男	895	贵州贵阳	农民
朱德全	男	905	陕西西安	商人

		氏 名	職 業 分 類	勤 務 先	自 宅	
39	T	高 井 敏 治	砂 糖 販 売	(株)高井商店 専務取締役 汐見町 5	加治屋町 5の21	
40		高 田 光 義	石 油 販 売	南国殖産(株) 常務取締役 武町 431 南国日本生 命ビル内	天保山町 88の3	
41		田 平 礼 章	整 形 外 科 医	田 平 整 形 外科病院 副 院 長	加治屋町 16の5	加治屋町 11の17
42		土 橋 英 夫	産 婦 人 科 医	土 橋 病 院 院 長	西田町 10	西田町 1 2
43		塘 一 郎	工 業 教 育	鹿 児 島 大 学 工学部 教 授	鴨池町 52	伊敷町 1の2 伊敷栄門住 宅 4号
44		飛 岡 俊 夫	商 業 銀 行	(株)鹿児島銀行 常務取締役	金生町 5 4	平之町 107
45		德 田 基	公 証 人	鹿 児 島 公 証 人 役場 公 証 人	山下町 17の12	照国町 11の23
46	Y	米 倉 秀 雄	公 立 病 院	鹿 児 島 市 立 病 院 副 院 長	加治屋町 20の17	吉野町 9688

